

簡裁訴訟代理等関係業務日程考査の参考書

私の使ったものを紹介します。平成28年度のデータです。

要件事実の参考書

1. 「新問題研究 要件事実」 法曹界 司法研修所編 1429 円(税別)
2. 「認定司法書士への道 (要件事実最速攻略法)」 蛭町 浩 弘文堂 4000 円(税別)
3. 「要件事実の考え方と実務」 加藤 新太郎・細野 敦著 民事法研究会 3500 円(税別)
4. (1) 【ながめてわかる】－司法書士特別研修－
「認定考査対策とと要件事実の基礎」 小山 弘 日本加除出版 3000 円(税別)
(2) 【ながめてわかる】－司法書士特別研修－「認定考査対策とと要件事実の基礎」
【別冊】 司法書士認定考査過去問題・解答集[第1回～第10回]
小山 弘 日本加除出版 1200 円(税別)

司法書士倫理の参考書

1. 簡裁訴訟代理等関係業務の手引き 日本司法書士会連合会編 日本加除出版
3200 円(税別)

他に、特別研修で配布される資料と考査の過去問

* 要件事実を、全く学習したことがない場合は、1の「新問題研究 要件事実」を最初に読んでみるのが良いと思います。ページ数も少ないため、手軽に読めます。
2の「認定司法書士への道 (要件事実最速攻略法)」は、過去問を含め問題を解きながら学習できるので、これも、要件事実を学習したことの無い人に向いています。
3の「要件事実の考え方と実務」は、要件事実の説明のみで、問題はありません。要件事実を勉強したことがあり、ある程度知識があれば、良いかもしれません。
ただ、2の認定司法書士への道より説明は詳しいです。
4の【ながめてわかる】－司法書士特別研修－「認定考査対策とと要件事実の基礎」は、私は、2の認定司法書士への道と認定考査の過去問の解答が違う場合があるので、解答のみ参考にするために使っていました。

司法書士倫理については、1. 「簡裁訴訟代理等関係業務の手引き」は必ず購入し、早い時期に第1章は読んでおくべきと思います。

1の「新問題研究 要件事実」を読んだ後は、過去問を解きながら、2の「認定司法書士への道」の、その問題に関係する部分を読んで学習しました。過去問が終わった後、過去問に出てきていない部分を勉強しました。

1. 要件事実(第1問)については、最初は「新問題研究 要件事実」をやり、それから、「認定司法書士への道」の第1部民事訴訟手続と要件事実の基礎(第3版ではP101まで)をして、次に、過去問を勉強しながら、要件事実について、過去問に関係する部分を、「認定司法書士への道」で学習するのが良いと思います。
2. 司法書士倫理(第2問、第3問)については、「簡裁訴訟代理等関係業務の手引き」は必須だと思います。

あくまでも、私の意見ですので、自分の学習法を確立する参考にしてください。